

“一人一人が輝き、  
その輝きを認め合える  
子供の育成を目指して”

校長 伊藤 誠治



令和2年度は、81名の新1年生を迎え、計603名の児童とともに、進級、入学を祝い、スタートいたしました。新年度を迎えるにあたって、第二小学校の子供一人一人が輝き、その輝きを認め合える経験をたくさんつくっていきたいと考えています。「子供が輝く」のはどのような時でしょうか。自分が人よりも優れたことをして誇らしく思う時もあるでしょう。できなかったことを頑張り抜いてできるようになった時もあるでしょう。人のために何かをして感謝された時もあるでしょう。学級や学年、学校全体で何かを成し遂げ大きな輝き放つ時もあるでしょう。

このような、子供一人一人が輝く場面を学校の教育活動の中でたくさんつくっていきたいと考えています。そして、何より大切なのは、小さいかもしれない一つ一つの輝きを、周囲の子供や教員、保護者、地域の皆様がしっかりと見つけ、認めてあげることです。そして、言葉にして伝えてあげることだと思います。今年度も、地域、保護者の皆様から多くのご支援ご協力をいただきながら教育活動を進めていくことになると思います。どうぞよろしく申し上げます。

『一人一人が輝き、その輝きを認め合える子供の育成を目指して』

- 教員一人一人が子供たちの憧れやモデルの対象になるよう、切磋琢磨し、率先垂範する学校にします。
- 教員一人一人がこれからの学校教育を広い視点から見つめ、毎日の授業に取り組む学校にします。
- 様々な方法で情報発信し、保護者・地域との信頼関係を築きます。